

身近な場所の災害リスクの調べ方

「富士宮市防災マップ」や「宮まつぷ」を使って、
自宅や職場など、身近な場所の**災害リスク**を確認しましょう。



©富士宮市さくやちゃん

1 自然災害について知る

地震

富士宮市で想定されている南海トラフ地震による最大震度は**6弱**または**6強**です。それぞれ以下のような特徴があります。

6弱

耐震性が高い

耐震性が低い

【震度6弱】

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

6強

耐震性が高い

耐震性が低い

【震度6強】

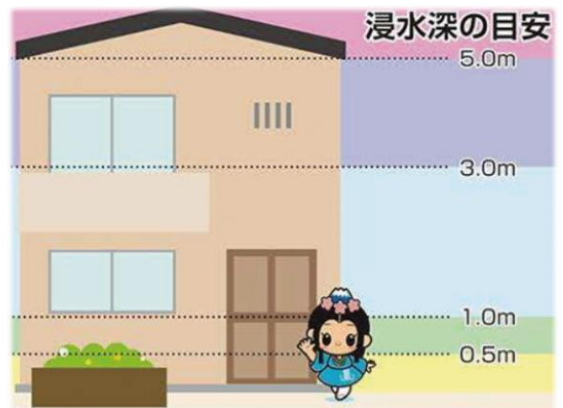
- はわないと動くことができない物は飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが多くなる。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

洪水

河川洪水は、氾濫が起こってからでは避難が間に合いません。

川の水位の上昇に合わせて市から**避難情報**を発令するので、早めに安全な場所へ避難してください。

※自宅の浸水リスクを参考に、**避難先**を決めておきましょう。



土砂

土砂災害とは、がけ崩れ、土石流、地すべりのことをいい、雨や地震によって、突然発生する可能性があります。

災害リスクがある場所にお住まいの方は、**気象情報**や市からの**避難情報**に注意して、早めに**危険エリアの外へ避難**しましょう。

がけ崩れとは

雨や地震などの影響によって、土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちる現象。人家を襲うと逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっています。

土石流とは

山や谷（深流）の土砂や木の一部が長雨や集中豪雨などで水と一体となり、一気に下流へ押し流される現象。流れの速さは時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

地すべりとは

大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、地下水の力によって持ち上げられた地面がゆっくりと斜面下方へ動き出す現象。一般的に広範囲にわたり動くため、甚大な被害を及ぼす可能性が高くなっています。

富士山噴火

火山の噴火によって高温のマグマが流れてくる現象を**溶岩流**といいます。避難対象エリアと想定される影響は右の表のとおりです。

噴火前と**噴火後**で避難対象エリアを定めており、エリアごとに噴火警戒レベルに応じた適切な避難行動をとる必要があります。

詳しくは、「富士宮市富士山火山避難行動マップ」をご覧ください。



	避難対象エリア	想定される影響
噴火前避難	第1次避難対象エリア	想定火口範囲
	第2次避難対象エリア	溶岩流が1時間以内に到達
	第3次避難対象エリア※	溶岩流が3時間以内に到達
噴火後避難	第4次避難対象エリア	溶岩流が3時間～24時間に到達
	第5次避難対象エリア	溶岩流が24時間～7日間に到達
	第6次避難対象エリア	溶岩流が7日間～約57日間に到達

※第3次避難対象エリアの中の「避難行動要支援者」は噴火前避難の対象者で、それ以外の住民は噴火後避難の対象者

2 災害リスクの調べ方

(1) 富士宮市防災マップ

自然災害に関する**災害情報**や**避難場所**に加え、
自助・共助における防災対策などを掲載。

【冊子】

市役所や公民館等で配布しています。

【インターネット】

富士宮市トップページ > 防災・安全 > 防災 >
災害に対する備え > 富士宮市防災マップ



(2) 宮まっぷ

住所や目標物を検索したり、地図を自由に操作することで、自分が知りたい防災
情報をより詳細に調べることができる。

【インターネット】

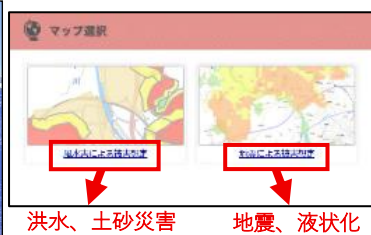
「富士宮市わが街ガイド宮まっぷ」で検索してください。



パソコンで調べる



① トップページから防災情報を選択する



② マップを選択する



③ 地図やレイヤーを操作する

スマートフォンで調べる



① トップページ上の防災情報から
マップを選択する



② 地図を表示する場所を
選択する



③ 地図やレイヤーを操作する



④ 表示したいレイヤーを
選択する

